
たとえ欠けた月だとしても

四季 ワタリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たとえ欠けた月だとしても

【Nコード】

N1218F

【作者名】

四季 ワタリ

【あらすじ】

全員が揃って満ちていても、誰かが居なくなっかそくて欠けていたとしても、月は月だかそくと思う。

雲一つ無い夜の空

そんな日に満月だと

私は少し嬉しくなります

だって手を伸ばすと

お月様に届きそうだから

お気に入りの滑り台に乗って

精一杯に手を伸ばす

もう少しで届きそうだけど

やっぱり私には無理みたい

私は少し悲しくなります

頑張っても出来ないことがあるんだな、って……

病院の真っ白いベッド

横たわるママが笑顔だと

私は少し嬉しくなります

だって私が話しかけると

優しい声が返ってくるから

その温かい体に抱き付き

控え目に頬擦りすると

ママは本当に喜んでくれました

でも私が病室を出ると

ママは苦しそうに

咳き込んでいました

私は心配になったけど、パパは

『大丈夫だよ、ちょっとここで待っててね』

と、私を置いてママの病室へと戻って行きます

独りぼっちになって

私は少し寂しくなります

そんな時は目を瞑って

神様にお祈りをします

『早くママが元気になりますように』って……

お気に入りの滑り台を降りると

仕事帰りのパパが

優しく微笑みながら待っていてくれました

きっと疲れているはずなのに

私の前ではいつも笑っています

『遅くなってゴメンね』とパパは言います

他のお友達は随分前に

ママたちが迎えに来て帰っていました

私は少し羨しく思います

『私もママが迎えに来てくれたら……』

でもパパには言いません

その代わりに笑顔で

『迎えに来てくれてありがとう』って伝えます

『滑り台に乗って、お月様を掴もうと思ったけど無理だったの』

私は今日の出来事を教えます

私の冷たい小さな手を

パパは温かい大きな手で

優しく包んでくれています

『なんで頑張ったのに、掴めないのかな……？』

私はパパを見上げました

するとパパは『よしっ』と言いながら

私の脇を抱えると

自分の肩へと乗せてくれました

『じゃあ今度はパパと一緒に掴んでみようか』

顔を覗くとパパは少し泣きながら笑っていました

私は少し嬉しくなりました

だってパパと一緒にだったら

これから頑張っていけそうだから……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1218f/>

たとえ欠けた月だとしても

2010年12月28日15時45分発行